



PATENT
Attorney Docket No. 402916/SOEI

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:

Jun FUJIMOTO

Art Unit: 3629

Application No. 10/735,812

Examiner: Unassigned

Filed: December 16, 2003

For: SERVICE MANAGEMENT SYSTEM AND SERVICE
MANAGEMENT SERVER IN HOTEL WITH CASINO

CLAIM OF PRIORITY

Mail Stop Missing Parts
Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

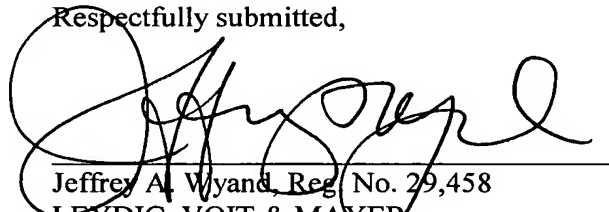
Dear Sir:

In accordance with the provisions of 35 USC 119, Applicant claims the priority of the following application or the applications (if more than one application is set out below):

Application No. JP2002-364494, filed in Japan on December 16, .
2002.

Certified copies of the above-listed priority documents are enclosed.

Respectfully submitted,



Jeffrey A. Wyand, Reg. No. 29,458
LEYDIG, VOIT & MAYER

700 Thirteenth Street, N.W., Suite 300
Washington, DC 20005-3960
(202) 737-6770 (telephone)
(202) 737-6776 (facsimile)

Date: March 30, 2004
JAW/maa

Priority Claim (Revised 5/20/03)



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 1 2 月 1 6 日
Date of Application:

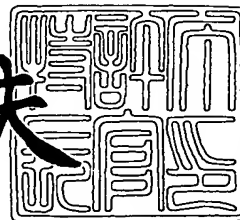
出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 3 6 4 4 9 4
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 2 - 3 6 4 4 9 4]

出 願 人 アルゼ株式会社
Applicant(s):

2 0 0 3 年 1 1 月 1 0 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 P02-1071

【提出日】 平成14年12月16日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都江東区有明 3 丁目 1 番地 2 5 有明フロンティア
ビル A 棟

【氏名】 富士本 淳

【特許出願人】

【識別番号】 598114343

【氏名又は名称】 アルゼ株式会社

【代表者】 岡田 和生

【代理人】

【識別番号】 100101889

【弁理士】

【氏名又は名称】 中村 俊郎

【電話番号】 0352922646

【選任した代理人】

【識別番号】 100097559

【弁理士】

【氏名又は名称】 水野 浩司

【電話番号】 0352922646

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 107790

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1
【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 カジノが設置されたホテルにおける各種提供サービスの管理システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 カジノが設置されたホテル内において、利用者を特定できるハウスカードを発行し、このハウスカードを用いて利用者に提供する各種のサービスを管理する管理システムであって、

前記利用者に対し、その利用者を特定できる情報を記録したハウスカードを発行するハウスカード発行部と、

前記ハウスカード発行部により発行されたハウスカードを読み取るためのカードリーダーから取得した、そのハウスカード利用者の情報を管理するハウスカードサーバと、

前記ハウスカードを所有する利用者に、そのハウスカード利用者のカジノ内での利用限度を定めると共に、カードリーダーから取得した利用者を識別する情報を用いて、そのカード利用者のデポジット情報を管理するカジノデポジット管理サーバと、を有し、

前記カジノデポジット管理サーバは、あらかじめ設定されたデポジット利用制限条件に基づいて、その利用者のカジノサービス提供部での利用を制限する、ことを特徴とする、カジノが設置されたホテルにおける各種提供サービスの管理システム。

【請求項 2】 請求項 1 に記載のカジノが設置されたホテルにおける各種提供サービスの管理システムにおいて、

前記デポジット利用制限条件は、ハウスカード利用者が指示したデポジット額がなくなったことであることを特徴とする、管理システム。

【請求項 3】 請求項 1 に記載のカジノが設置されたホテルにおける各種提供サービスの管理システムにおいて、

前記デポジット利用制限条件は、所定の期間におけるデポジットの累積があらかじめ指定したデポジット上限額を越えたことであることを特徴とする、管理システム。

【請求項 4】 カジノが設置されたホテル内において、利用者を特定できるハウスカードを発行し、このハウスカードを用いて利用者に提供する各種のサービスを管理する管理システムであって、

前記利用者に対し、その利用者を特定できると共に、カジノ内での利用限度を定めるデポジット情報を記録したハウスカードを発行するハウスカード発行部と、

カードリーダーから取得した、そのハウスカード利用者の情報を管理するハウスカードサーバと、を有し、

カードリーダーによって、その利用者のデポジットがなくなったことが検出された場合、その利用者のカジノサービス提供部での利用を制限する、カジノが設置されたホテルにおける各種提供サービスの管理システム。

【請求項 5】 前記カード所有者の利用情報を取得し管理する、行動履歴管理サーバを更に有することを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載のカジノが設置されたホテルにおける各種提供サービスの管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、カジノが設置されたホテル内で提供される各種のサービスを総合的に管理するシステムに関し、具体的には、各種情報が記録されたカード（ここでの「カード」には、光カード、磁気カード、ICカード等、接触型／非接触型、及び追記型などの各種の方式を含む）を予め宿泊者に提供し、ホテル内で提供される各種のサービスを総合的に管理するシステムに関する。

なお、ここでのサービスには、通常のホテル業務において提供されるサービス（例えば、ルームサービス、レストラン、バー、ショッピング時等で受けるサービス；「ホテルサービス」と定義する）に加え、カジノにおいて提供されるサービス（例えば、スロットマシン、カードゲーム、ルーレット等、お金を賭けて勝負を行い、勝利した場合、所定の配当金を得るサービス；「カジノサービス」と定義する）が含まれる。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

一般的に、ホテル内において、宿泊者に上記したようなカードを発行し、このカードによって清算等を管理しようとするシステムが知られている。例えば、特許文献 1 には、宿泊者に、チェックイン時の記帳内容をインプットした宿泊者カードを提供し、このカードに記録された内容に基づいて各種サービス（ルームキーとしての機能、キャッシュレスでの買い物、レストラン内での特別メニューのサービス等）を提供したり、ホテル内での購買記録等を宿泊者カードに記録することで、チェックアウト時に費用の清算が行なえるようにするシステムが開示されている。

【0 0 0 3】

一方、カジノ業界においても、遊技者にカードを携行させ、遊技者の行動を管理するシステム（プレーヤートラッキングシステム；PTS）が一般化されつつあり、現金以外にも、各種カードを用いたキャッシュレスで精算が行なえる技術が利用されつつある。例えば、特許文献 2 には、クレジットカードを用いて、キャッシュレスでゲームが行なえるシステムが開示されている（段落番号 [0 0 3 8] 等）。

【0 0 0 4】**【特許文献 1】**

特開 2 0 0 2 - 1 2 3 6 1 9 号公報

【特許文献 2】

特開平 8 - 1 8 0 1 1 5 号公報

【0 0 0 5】**【発明が解決しようとする課題】**

上記したように、ホテルやカジノでは、そこで提供されるサービスについて、カードによるキャッシュレスで精算が行なえる精算システム等が知られたものになっている。

【0 0 0 6】

ところで、ラスベガスのような都市では、ホテルとカジノが一体化してサービスを提供している場合が多く、このようなホテルでは、ホテルにおけるシステム

とカジノにおけるシステムは、独立しているのが現状である。これは、カジノという特殊な分野において、従来知られている特許文献 1 等の開示されている精算システムをそのまま使うには問題が生じるからである。

【0007】

例えば、カジノでの利用を、カード決済が行なえるようにすると、思ってもいないような損害が生じる可能性がある。例えば、ホテルのハウスカードを用いてカジノを行なう場合、遊技者は、無制限に使用する可能性があり、チェックアウト時など、実際の精算時において支払不能に陥る等、問題が生じる。

【0008】

また、システムが独立していると、カジノとホテル間で情報のやり取りができないため、利用者にきめ細かなサービスが提供できないと共に、利用者は、複数のカードを携帯してサービス毎に異なるカードを提示する必要がある等、利便性の面から問題が生じる。

【0009】

本発明は、カジノが設置されたホテルにおいて生じる上記したような特殊な事情に基づいてなされたものであり、ホテルにおけるホテルサービスとカジノにおけるカジノサービスを統合可能し、カードを 1 枚携帯するだけで、ホテル／カジノ内の全てのサービスの提供が受けられるサービス管理システムを提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記した課題を解決するために、本発明は、カジノが設置されたホテル内において、利用者を特定できるカード（カードキー）を発行し、このカードを用いて利用者に提供する各種のサービスを管理する管理システムを提供するにあたり、前記利用者に対し、その利用者を特定できる情報を記録したカードを発行するカード発行部（カード発券機）と、ホテル内のホテルサービス提供部（フロント、客室、レストラン、バーなど）に設置されたカードリーダーから取得した、そのカード利用者の情報を管理するハウスカードサーバと、前記カードを所有する利用者に、そのカード利用者のカジノ内での利用限度を定めると共に、ホテル内のカ

ジノサービス提供部に設置されたカードリーダーから取得した利用者を識別する情報を用いて、そのカード利用者のデポジット情報を管理するカジノデポジット管理サーバと、を設け、前記カジノデポジット管理サーバによって、デポジットがなくなったことが検出された場合、その利用者のカジノサービス提供部（カジノ）での利用を制限するようにしたことを特徴とする。

【0011】

上記した構成において、宿泊者は、その利用者を特定できる情報（ID情報等）を記録したカード（ハウスカード）が提供される。利用者は、ホテル内での各種ホテルサービスを受けるにあたり、そのカードを提示する。ホテル内のサービス提供部（客室、飲食店、売店等）には、カードリーダー（書き込み機能を備えていても良い）が設置されており、その利用状況は、ハウスカードサーバに送信され、利用者毎に、使用金額等が蓄積される。このため、利用者は、キャッシュレスで各種のホテルサービスを受けることができ、チェックアウト時に一括精算することが可能になる。なお、「ハウスカード」とは、利用者を特定できる情報などを記憶する機能を有するカードであって、所定の範囲（たとえば、ホテル内など）内において本人認証や決済に用いられるカードをいうものとする。また形状としてはカードに該当しなくとも、上記機能を有するものであれば「ハウスカード」に該当するものとする。

【0012】

また、宿泊者は、カードを取得するにあたり、各種のカジノサービスを受けるための金額をデポジットしておく。金額は、利用者毎に予め指定されるものであり、ホテルチェックアウト時に精算することを約したり、現金やデビットカードで納めたり、クレジットカードを利用することで、予めホテル側に収められたりする。この金額は、ID情報と共に、カジノデポジット管理サーバで管理される。そして、利用者は、ホテル内でカジノサービスを受けるにあたり、そのハウスカードを提示する。カジノサービス提供部（スロットマシン、カードテーブル、ルーレット等を行なう場所）には、カードリーダーが設置されており、その利用状況は、カジノデポジット管理サーバに送信され、利用者毎に、デポジットの状況が蓄積される。そして、デポジットが無くなった場合、その利用者は以後のカジ

ノサービスを受けることができなくなるため、不必要に金額を使いすぎるようなことが無くなる。この場合、利用者は、再度、現金、デビットカードやクレジットカードを利用することで、新たにデポジットしても良い。このように、利用者は、キャッシュレスで各種のカジノサービスを受けることができ、デポジット金額は、チェックアウト時に一括精算することが可能になる。

【 0 0 1 3 】

また、上記した課題を解決するために、本発明は、カジノが設置されたホテル内において、利用者を特定できるハウスカードを発行し、このハウスカードを用いて利用者に提供する各種のサービスを管理するにあたり、前記利用者に対し、その利用者を特定できると共に、カジノ内での利用限度を定めるデポジット情報を記録したハウスカードを発行するハウスカード発行部と、ホテル内のホテルサービス提供部に設置されたカードリーダから取得した、そのハウスカード利用者の商品／サービス購入額を管理するハウスカードサーバとを設け、ホテル内でのカジノサービス提供部（カジノ）に設置されたカードリーダによって、その利用者のデポジットがなくなったことが検出された場合や所定の利用上限額を超過した場合などの利用制限条件に応じて、その利用者のカジノサービス提供部（カジノ）での利用を制限するようにしたことを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

上記した構成において、宿泊者は、その利用者を特定できる情報（ID情報等）を記録したカード（ハウスカード）が提供される。ハウスカード利用者は、ホテル内での各種ホテルサービスを受けるにあたり、そのハウスカードを提示する。ホテル内のサービス提供部（客室、飲食店、売店等）には、カードリーダ（書き込み機能を備えていても良い）が設置されており、その利用状況は、ハウスカードサーバに送信され、利用者毎に、使用金額等が蓄積される。このため、利用者は、キャッシュレスで各種のホテルサービスを受けることができ、チェックアウト時に一括精算することが可能になる。

【 0 0 1 5 】

また、宿泊者は、ハウスカードを取得時もしくは取得後任意の時点で、各種のカジノサービスを受けるための金額をデポジットすることができる。金額は、利

用者毎に予め指定されるものであり、チェックアウト時に精算することを約したり、現金で納めたり、デビットカードやクレジットカードを利用することで、予めホテル側に収められ、この金額は、ID情報と共に、ハウスカードに書き込まれる。そして、利用者は、ホテル内でカジノサービスを受けるにあたり、そのハウスカードを提示する。カジノサービス提供部（スロットマシン、カードテーブル、ルーレット等を行なう場所）には、書き込み可能なカードリーダーが設置されており、そのデポジット金額は、サービスを受ける毎に書き換えられる。そして、デポジットが無くなった場合や所定の利用限度額を超過した場合など所定の利用制限条件に応じて、その利用者は以後のカジノサービスを受けることができなくなるため、不必要に金額を使いすぎるようなことが無くなる。この場合、利用者は、再度、現金、デビットカードやクレジットカードを利用することで、新たなデポジットを書き換えても良い。このように、利用者は、キャッシュレスで各種のカジノサービスを受けることができ、デポジット金額は、チェックアウト時に一括精算することが可能になる。

【0016】

【発明の実施の形態】

以下、本発明に係るカジノが設置されたホテルにおける各種提供サービスの管理システムの一実施形態について説明する。

最初に、図1のブロック図を参照して、管理システムの全体構成について説明する。

【0017】

管理システムは、通信網100に接続されたホテルサービス管理サーバ200、カジノデポジット管理サーバ210、行動履歴管理（プレーヤートラッキングシステム（Player Trace System; PTS））サーバ211、マルチメディアサーバ220、サービスサーバ230、イントラサービスサーバ240、ハウスカードサーバ250、及び集計・分析サーバ260を有しているとともに、フロント1に設置されている端末1、ハウスカード発券機3、クレジットカード端末5と、各客室10に設置されているカードリーダー12、セットトップボックス14、電話機15、ドア電子錠16と、レストラン20に設置されているレジスタ21、

カードリーダー 22 と、バー 30 に設置されているレジスタ 21, カードリーダー 2、カードリーダー (図示せず) を備えたカウンタートップ 35 と、カジノ 50 内に設置されたルーレット 51, カードテーブル 53, スロットマシン 55 などの遊技機、チップ発行・精算機 60 とを有している。また、客室 10 内に設けられている電話機 15 は、交換機 300 と接続されており、図示しない電話回線網を介してホテル、カジノ内外の電話機と通話可能である。

【0018】

なお、上記サーバ 200～260 を総称して「サーバ群」と呼び、上記フロント 1, 客室 10, レストラン 20, バー 30 に設置された端末 1 からカウンタートップ 35 までを総称して「ホテル内機器群」と呼び、カジノ 50 内に設置されたルーレット 51, カードテーブル 53, スロットマシン 55 などの遊技機、チップ発行・精算機 60 を「カジノ内機器群」と呼ぶものとする。

【0019】

以下に、上記管理システムの各構成要素を説明する。

[通信網 100]

本実施の形態に係る管理システムは、通信網 100 を介して上記サーバ群、ホテル内機器群、カジノ内機器群が通信可能な構成となっている。ここで、通信網 100 は、有線・無線、専用回線・交換回線を問わず、これに接続されているサーバ群、ホテル内機器群、カジノ内機器群がそれぞれ目的とする装置に対しセッションを確立したときにその間での情報の送受を可能とするように作用する。通信網 100 は、インターネットのように、ゲートウェイを介して複数のネットワークが組み合わされて実現しても構わない。たとえば、ホテルサーバ 200, ハウスカードサーバ 250, サービスサーバ 230, イントラサービスサーバ 240, マルチメディアサーバ 220 とホテル内機器群からなる第 1 のローカルネットワーク (LAN) と、カジノデポジット管理サーバ 210, PTS サーバ 211, 集計・分析サーバ 260 とカジノ内機器群とからなる第 2 のローカルネットワークと、これら第 1 及び第 2 のローカルネットワークとを接続するゲートウェイにより通信網 100 が構成されても良い。また、その接続についてもいわゆるバックボーンといわれる基幹線に直接接続せずとも、PPP 接続などによって一

時的に接続してあっても、セッションを確立したときにその間で情報の送受ができるようになっていけば構わない。なお、上記「通信網」は専用回線を固定的に張りめぐらせたような、交換機を用いない通信網も含むものとする。

【0 0 2 0】

[サーバ群]

サーバ群を構成するサーバ 2 0 0 ～ 2 6 0 のそれぞれは、演算処理装置（CPU）、主メモリ（RAM）、読出し専用メモリ（ROM）、入出力装置（I/O）、ハードディスク装置等の外部記憶装置を具備している装置であって、たとえばコンピュータ、ワークステーションなどの情報処理装置などである。前記 ROM、もしくはハードディスク装置などにこの情報処理装置をサーバ 2 0 0 ～ 2 6 0 として機能させるためのプログラムが記憶されており、該プログラムを主メモリ上に載せ、CPU がこれを実行することによりサーバ 2 0 0 ～ 2 6 0 が実現されるようになっている。また、上記プログラムはからなずしも情報処理装置内の記憶装置に記憶されていなくともよく、外部の装置（例えば、ASP（アプリケーション・サービス・プロバイダのサーバなど）から提供され、これを主メモリにダウンロードする構成であっても良い。

【0 0 2 1】

[ホテルサービス管理サーバ]

ホテルサービス管理サーバ 2 0 0 は、予約の受付、顧客のチェックイン、チェックアウトなどホテル業務の総合管理を行う機能を有する。

【0 0 2 2】

[カジノデポジット管理サーバ]

カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 は、カジノのデポジットの受付、デポジットからの支払いによるチップの発行、チップ換金金額のデポジットへの繰り入れ、デポジットの精算、デポジット利用額の監視・管理・制限を行う機能を有する。

【0 0 2 3】

[行動履歴管理（プレーヤートラッキングシステム（PTS））サーバ]

行動履歴管理（プレーヤートラッキングシステム（PTS））サーバは、カードリーダーから送信されるハウスカード7の使用要求を用いて、人の移動履歴、サービス利用履歴、行動履歴を蓄積記憶する機能を有する。蓄積されたこれら履歴を示すデータは、集計・分析サーバ260によって顧客の行動パターンの解析／分析などのデータマイニング等に利用される。

【0024】

[マルチメディアサーバ]

マルチメディアサーバ220は、客室10内のセットトップボックス14からの要求に応じて、映画、音楽などのデジタルコンテンツデータを通信網100を介してそのセットトップボックス14に宛てて送信する機能を有する。データを受け取ったセットトップボックス14は、そのデジタルコンテンツを客室内のモニタ（図略）を用いて再生し、顧客は映画、音楽などのデジタルコンテンツを客室10内にて楽しむことができる。

【0025】

[サービスサーバ]

サービスサーバ230は、ホテル内外で催されるショー、試合などのイベントの予約の受付、予約チケットの発券などを扱う機能を有する。顧客は、客室10内のセットトップボックス14からイベントの指定して予約要求を送り、サービスサーバは、予約可能であれば発券処理等を行う。

【0026】

[イントラサービスサーバ]

イントラサービスサーバ240は、客室10内のセットトップボックス14からの要求に応じて、ホテル内イントラネットカジノ（スロットマシンゲーム、カード（ポーカー、ブラックジャックなど）ゲーム等）・イントラネットゲーム（いわゆるTVゲーム）のゲームデータを通信網100を介してそのセットトップボックス14に宛てて送信する機能を有する。ゲームデータを受け取ったセットトップボックス14は、そのゲームを客室内のモニタ（図略）を用いて実行・再生し、顧客はこれらゲームを客室10内にて楽しむことができる。

なお、イントラカジノゲームを利用する場合は、ゲームの利用料、ベット、ゲ

ームに勝利した場合の賞金としてカジノデポジット管理サーバ 2 1 0 にデポジットの引き落とし／加算を要求するようにしても良い。

【0 0 2 7】

[ハウスカードサーバ]

ハウスカードサーバ 2 5 0 は、ハウスカード 7 の発行、使用停止、使用再開などの管理、およびホテル内個人口座管理を行う機能を有する。ハウスカードを利用した物品／サービスの購入金額は、すべてハウスカードサーバ 2 5 0 に送られ、蓄積・記憶される。

【0 0 2 8】

なお、顧客がカジノでのチップ購入などに用いるデポジット（以下、「カジノデポジット」という）を入れる場合は、顧客のデポジット要求に基づいてハウスカードサーバ 2 5 0 が指定されたデポジット利用額をサービス購入額として記録するとともに、デポジット管理サーバ 2 1 0 は指定されたデポジット利用額を利用可能額として記憶する。

【0 0 2 9】

[ホテル内機器群]

次に、ホテル内機器群について説明する。

【0 0 3 0】

ホテル内には、フロント 1、多数の客室 1 0、レストラン 2 0、バー 3 0 等の設備に加え、カジノ 5 0 が設置されている。

前記フロント 1 には、ホテル内に設置された通信網 1 0 0 に接続される端末 2 を介して、ハウスカード発券機 3 及びクレジットカード端末 5 が接続されている。ハウスカード発券機 3 では、宿泊者毎に、その利用者を特定できる情報（ID 情報等）が記録されたハウスカード 7 が提供される。この場合、ID 情報に加えて、氏名、住所、滞在日数等の基本情報や、その他、趣味、嗜好等の個人情報を記録するようにしても良い。このハウスカード 7 は、その宿泊客が利用する客室 1 0 の施錠を行なう客室キーとしての機能を併せ持つ。また、セキュリティを高めるために、提供されるハウスカード毎に、宿泊者が定める暗証番号等の機能を付加し、決済時にハウスカード提示に加えて暗証番号等を入力させることが好ま

しい。

上記したハウスカード情報は、通信網 1 0 0 に接続されたハウスカードサーバ 2 5 0 によって管理される。

【 0 0 3 1 】

宿泊者は、ハウスカードを取得するにあたり、各種のカジノサービスを受けるための金額をデポジットしておく。この場合、金額は、利用者毎に予め決定されるものであり、ハウスカードを受けるにあたり、現金で納めたり、或いはデビットカードやクレジットカードを利用して予めホテル側に収める。ここで収めた金額は、ID 情報と共に、通信網 1 0 0 に接続されたカジノデポジット管理サーバ 2 1 0 で管理される。

【 0 0 3 2 】

前記客室 1 0 には、ハウスカード所有者のカード情報を読み取らせることで、各種のサービスの提供が受けられるカードリーダ 1 2（書き込み機能を有するものであっても良い；以下のカードリーダにおいても同じ）が設置されている。ここでのサービス提供の形態としては、例えば、ビデオオンデマンド、ゲームオンデマンド、ルームサービスや各種館内サービス（ショーやイベントの参加）の要求、及び宿泊料金精算を行なうセットトップボックス 1 4、電話 1 5 やインターネット網へのアクセス、客室ドア 1 6 等が挙げられる。すなわち、これらのサービスはカードリーダ 1 2 にカード情報を読み取らせることで提供されるようになっている。

【 0 0 3 3 】

上記したサービス提供に際して入力されたカード情報、及び利用金額は、通信網 1 0 0 に接続されたハウスカードサーバ 2 5 0 に送信され、利用者毎に金額等が管理される。また、各客室に対しするビデオやゲーム等、各種のコンテンツの配信は、通信網 1 0 0 に接続されたマルチメディアサーバ 2 2 0、ショーやイベントの予約／発券は、通信網 1 0 0 に接続されたサービスサーバ 2 3 0 によって成される。

【 0 0 3 4 】

また、各客室 1 0 内において、カジノ 5 0 で行なわれるカジノサービス（例え

ばカジノ場内に撮影手段を設置してカードゲームやルーレット等へのリアルタイムでの参加)を受けたり、テレビゲームによるカジノの提供を受けるようにしても良い。これらのカジノサービスは、通信網 1 0 0 に接続されたイントラサービスサーバ 2 4 0 によって成される。なお、このようなサービスを受けるに際して、その利用金額(デポジット)は、後述するカジノ 5 0 でのサービス提供と同様に、カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 によって管理されるようにしてもよい。

【0 0 3 5】

前記レストラン 2 0 には、レジ 2 1 に設けられ、ハウスカード所有者のカード情報を読み取らせることで、そこで受けたサービスをキャッシュレスでの精算を可能にするカードリーダー 2 2 が設置されている。各ハウスカード所有者は、キャッシュレスで精算することができ、その際のカード情報、及び利用金額は、通信網 1 0 0 に接続されたハウスカードサーバ 2 5 0 に送信され、利用者毎に金額等が管理される。

【0 0 3 6】

前記バー 3 0 には、レストラン 2 0 と同様、レジ 3 1 に設けられ、ハウスカード所有者のカード情報を読み取らせることで、そこで受けたサービスをキャッシュレスでの精算を可能にするカードリーダー 3 2 が設置されている。各ハウスカード所有者は、キャッシュレスで精算することができ、その際のカード情報、及び利用金額は、通信網 1 0 0 に接続されたハウスカードサーバ 2 5 0 に送信され、利用者毎に金額等が管理される。なお、バー内でカジノサービス(カードゲーム等)が受けられるカウンタートップ 3 5 を設けても良い。ここでのカジノサービスを受けるに際して、その利用金額(デポジット;預託金)は、各カウンターに設置されたカードリーダー 3 5 (書き込み機能を有するものであっても良い)を介して、カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 によって管理される。

【0 0 3 7】

[カジノ内機器群]

前記カジノ 5 0 内には、各種カジノサービスが受けられるよう、例えば、ルーレット 5 1、カードテーブル 5 3、スロットマシン 5 5 等が設置されている。これらには全てカードリーダー(図略)が設置されており、このようなサービスを受

けるに際して、その利用金額（デポジット）は、カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 によって管理されるようになっている。また、カジノ 5 0 内には、チップ発行・精算機 6 0 が設置されており、カードリーダー 6 1 を介して、デポジットの範囲内でチップの発行をしたり、或いは精算することが可能となっている。

【 0 0 3 8 】

そして、上述したカジノサービスの提供に際しては、カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 は、リアルタイムで各利用者のデポジット状況を管理し、デポジットがなくなったことが検出された場合、その利用者のカジノサービス提供部（カジノ 5 0）での利用を制限するようになっている。

【 0 0 3 9 】

なお、上記したカジノデポジット管理サーバ 2 1 0 に関連させて、PTSサーバ 2 1 1 によって、各プレーヤの動線管理（利用者の移動履歴やサービス利用履歴）をしたり、各プレイスポットでの消費金額、滞在時間等を管理するようにしても良い。このような情報を管理することにより、利用者の嗜好や行動パターンが把握できるようになり、スタッフの配置管理等、カジノ内でのきめ細かなサービスの提供が行なえるようになる。なお、このような PTS サーバ 2 1 1 は、ホテル内での全ての行動履歴を管理するように構成しても良い。

【 0 0 4 0 】

また、ホテル内において、カジノの利用等に関わる費用を蓄積すべく個人口座を開設する場合は、ハウスカードサーバ 2 5 0 によって個人口座が管理される。さらに、集計・分析サーバ 2 6 0 によって、各サービス提供場所の利用状況（購入品、嗜好品等）を分析することで、ホテル全体として、きめ細かなポイントサービスの提供が可能になる。

【 0 0 4 1 】

[本管理システムの動作例]

次に、図 2 ～図 4 のシーケンス図を参照して、上記した管理システムの動作例を利用者の行動パターンと共に説明する。

[ハウスカードを用いてホテル内のサービス等を購入させる場合の動作例]

図 2 は、ハウスカードを用いてホテル内のサービス等を購入させる場合の本管理システムの動作例を示すシーケンス図である。

【0 0 4 2】

顧客がハウスカード 7 を用いてホテル内のサービス等を購入する場合、顧客は自己のハウスカード 7 をカードリーダー（1 2， 2 2， 3 2 等）により読み取らせることにより、ハウスカードに記録された利用者識別情報をカードリーダーに渡す（ステップ 2 0 1）。一方、レジスタ（2 1， 3 1 など）に利用額が入力される（ステップ S 2 0 2）。レジスタは、カードリーダーから受け取った利用者識別情報とともに利用額の情報をハウスカードサーバ 2 5 0 に通信網 1 0 0 を介して送信する（ステップ S 2 0 3）。ハウスカードサーバ 2 5 0 は、これらの情報を受け取ると、この利用者の行動履歴、購買履歴などを記録させるように、P T S サーバ 2 1 1 に諸情報を送信する（ステップ 2 0 4）。またハウスカードサーバ 2 5 0 は、この利用者の購買額を記憶し（ステップ S 2 0 5）、チェックアウト時などに行われる料金精算に備える。このように、ハウスカード 7 によりホテル内のサービス等がキャッシュレスにより行えるようになる。

【0 0 4 3】

[カジノデポジット管理サーバにクレジットを入れる処理例]

次に、顧客がカジノデポジット管理サーバにデポジット（預託金）を入れることにより、ハウスカード 7 を用いてカジノ 5 0 内のサービスを購入できるようにするための処理例について説明する。図 3 は、カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 にデポジットを入れる本管理システムの動作例を示すシーケンス図である。

まず、顧客は自己のハウスカード 7 をカードリーダー（1 2， 2 2， 3 2、 6 1 等）により読み取らせることにより、ハウスカードに記録された利用者識別情報をカードリーダーに渡す（ステップ S 3 0 1）。一方、レジスタ（2 1， 3 1 など）やチップ発行・精算機 6 0 からデポジット額が入力される（ステップ S 3 0 2）。レジスタまたはチップ発行・精算機 6 0 は、カードリーダーから受け取った利用者識別情報とともにデポジット額の情報をデポジット要求として通信網 1 0 0 を介してカジノデポジット管理サーバ 2 1 0 へ送信する（ステップ S 3 0 3）。カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 は、これらの情報を受け取ると、このデポジ

ット要求が所定のデポジット利用制限条件に反しないかどうかをチェックする（ステップ S 3 0 4）。反している場合は、デポジット要求を拒絶する。一方、デポジット利用制限条件に反していない場合は、カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 は利用者の行動履歴、購買履歴などを記録させるように、P T S サーバ 2 1 1 に諸情報を送信する（ステップ 3 0 5）。またカジノデポジット管理サーバ 2 1 0 は、この利用者のデポジット額を記憶し（ステップ S 3 0 4）、チップ発行・精算機 6 0 からのチップ発行要求に備える。さらに、カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 は、デポジット額の情報をハウスカードサーバ 2 5 0 に通信網 1 0 0 を介して送信する（ステップ S 3 0 6）。ハウスカードサーバ 2 5 0 は、これらの情報を受け取ると、この利用者のデポジット額を購入額として記憶し（ステップ S 3 0 7）、チェックアウト時などに行われる料金精算に備える。ハウスカードサーバ 2 5 0 は、ステップ S 3 0 7 の終了後、通信網 1 0 0 を介して利用受付完了を通知する（ステップ S 3 0 8）。この通知を受け取ったカジノデポジット管理サーバ 2 1 0 は、デポジットが完了したことを通信網 1 0 0 を介してレジスタまたはチップ発行・精算機 6 0 に通知し（ステップ S 3 0 9）、顧客はレジスタまたはチップ発行・精算機 6 0 のディスプレイなどに表示される情報によりデポジットがなされたことを確認できる。

【 0 0 4 4 】

[ハウスカードを用いてチップの発行・精算を行う処理例]

次に、顧客がカジノにおいてチップを購入し、または獲得したチップや余ったチップを精算するための処理例について説明する。図 4 は、本管理システムにおけるハウスカードを用いてチップの発行・精算を行う処理例を示すシーケンス図である。

まず、顧客がチップを購入する場合において本システムの行う処理について説明する。顧客は自己のハウスカード 7 をチップ発行・精算機 6 0 に接続されたカードリーダー 6 1 により読み取らせ（ステップ S 4 0 1）、つぎにチップ発行・精算機 6 0 に必要なチップ枚数若しくは金額を入力する（ステップ S 4 0 2）。チップ発行・精算機 6 0 は、カードリーダーから受け取った利用者識別情報とともにチップ枚数若しくは金額の情報を通信網 1 0 0 を介してカジノデポジット管理サ

サーバ 2 1 0 へ送信する（ステップ S 4 0 3）。カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 は、これらの情報を受け取ると、この要求されたチップ枚数若しくは金額に相当する額を当該顧客のデポジット額から引き落とし、残ったデポジット額をその顧客の所有するデポジット額として記憶する（ステップ S 4 0 4）。また、カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 は要求されたチップ枚数若しくは金額に相当するチップの発行をチップ発行・精算機 6 0 に命令する（ステップ S 4 0 5）。この命令を受けたチップ発行・精算機 6 0 は、命令に応じたチップを発行する。

【 0 0 4 5 】

このようにして顧客は、ハウスカード 7 を利用してデポジットした額の範囲内でチップを購入することが可能となる。チップの購入に際してはハウスカードサーバ 2 5 0 と購入に関する処理を行わないので、カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 により管理されるデポジット額を超えて顧客がチップの購入を行うことはできないようになっている。

なお、チップの購入処理に際して、カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 は利用者の行動履歴、購買履歴などを記録させるように、PTSサーバ 2 1 1 に諸情報を送信するようにしてもよい。

【 0 0 4 6 】

次に、図 4 を参照しながら顧客がチップの精算をする場合の本管理システムの動作例を説明する。

まず、顧客は自己のハウスカード 7 をチップ発行・精算機 6 0 に接続されたカードリーダー 6 1 により読み取らせ（ステップ S 4 0 6）、つぎにチップ発行・精算機 6 0 にカジノ内で獲得したチップの預け入れ・デポジットの払い戻しなどの命令を入力する（ステップ S 4 0 7）。チップ発行・精算機 6 0 は、カードリーダーから受け取った利用者識別情報とともに、入力された命令および金額の情報を通信網 1 0 0 を介してカジノデポジット管理サーバ 2 1 0 へ送信する（ステップ S 4 0 8）。また、チップのデポジット繰り入れを行う場合は、チップ発行・精算機 6 0 がカウントしたチップの枚数若しくはカウントした枚数に相当する金額がチップ発行・精算機 6 0 からカジノデポジット管理サーバ 2 1 0 に送信される（ステップ S 4 0 9）ようにしても良い。これらの情報を受け取ると、カジノデ

ポジット管理サーバ 2 1 0 はこの繰り入れを要求されたチップ枚数若しくは金額に相当する額を当該顧客のデポジット額に加算して記憶する（ステップ S 4 1 0）。

【 0 0 4 7 】

一方、デポジットの払い戻しを要求された場合、カジノデポジット管理サーバ 2 1 0 は利用者識別情報により特定される顧客のデポジット額から払い戻し要求にかかる金額を減算し、減算後のデポジット額をさらに記憶し（ステップ 4 1 0）、払い戻し要求にかかる金額を加える（精算時に請求額から差し引く）ようハウスカードサーバ 2 5 0 に通知する（ステップ S 4 1 1）。ハウスカードサーバ 2 5 0 は、その顧客のホテル内口座に払い戻し要求にかかる金額を記憶する（ステップ S 4 1 2）。

【 0 0 4 8 】

このように、ハウスカードによりホテル内のサービス等がキャッシュレスにより行えるようになる。

【 0 0 4 9 】

〔本管理システムの利点〕

上記した構成の管理システムによれば、以下の効果が得られる。

〔ホテル側〕

ホテル内のレストランやカジノ場でのキャッシャーによる精算業務をキャッシュレスで行なえるため、精算業務が高速化できると共に、半無人化することで人件費を低減することができる。特に、完全キャッシュレス化による集金～運搬まで、金銭に関わる人件費を削減することができ、安全性も向上する。また、カジノサービスを受けるための金額を予めデポジットしておき、この範囲内でカジノサービスを受けられるように構成していることから、精算時に、利用金額が払えない等のトラブルが生じることもない。さらに、ルームサービス、通信販売、売店、飲食店、カジノ等、個別売上の管理が行なえると共に、その分析を行なうことが可能となる。

【 0 0 5 0 】

また、キャッシュレス、サインレスで迅速簡便な決済が行なえるため、顧客サ

ービスの向上が図れると共に、そのホテルで口座を開設した者（会員）についてはハウスカードを元に、その情報（個人情報、プレイ履歴や嗜好の自動分析）を有効活用して、きめ細かな各種サービスの提供を実現することが可能となる。

【0 0 5 1】

さらに、ホテルで口座を開設した者に対し、ホテル内でLANを使ったインターネットカジノを展開したり、口座をインターネット網と繋げることによって、遠隔地からのアクセスを可能にし、そのホテル内のカジノが胴元となったインターネットカジノを構築、運営することができる。

【0 0 5 2】

〔顧客側〕

顧客にとっては、ルームキーからホテル内での各種のサービスを1枚のハウスカードで受けることができ、各所での精算をキャッシュレスで行なえることから、利便性の向上が図れるようになる。また、カジノサービスを受けるに際しては、予めデポジットしておき、その範囲内でサービスを受けることができるので、不必要なお金の使い過ぎを防止することができる。

【0 0 5 3】

また、宿泊客全てにハウスカードを配布することによって、各種のサービスに利用制限を設定することが可能となる。例えば、未成年者には、サービスを受けられる内容に制限を与えることが可能となる。

【0 0 5 4】

以上、説明した管理システムによれば、各利用者のカジノサービスを受けるためのデポジットは、カジノデポジット管理サーバ210によって管理するように構成したが、デポジットは、各利用者に提供されるハウスカードに、その都度、書換え可能に構成したものであっても良い。この場合、カジノサービスを提供するスポットでは、プレイ毎に、ハウスカードにデポジット状況を書換え記録し、このデポジットがなくなった場合に、サービスの提供を制限するようになっている。このような構成では、上記したカジノデポジット管理サーバ210は設置しなくても良い。

【0 0 5 5】

【発明の効果】

以上、本発明の管理システムによれば、ホテルにおけるホテルサービスとカジノにおけるカジノサービスを統合可能し、ハウスカードを1枚携行するだけで、ホテル／カジノ内の全てのサービスの提供が受けられるようになる。また、カジノサービスに関しては、利用制限を設けたことで、ホテル側、利用者側に不足の不利益が発生することはない。

【図面の簡単な説明】**【図1】**

本発明に係るカジノが設置されたホテルにおける各種提供サービスの管理システムの全体構成を示すブロック図。

【図2】

ハウスカードを用いてホテル内のサービス等を購入させる場合の本管理システムの動作例を示すシーケンス図。

【図3】

カジノデポジット管理サーバ210にクレジットを入れる本管理システムの動作例を示すシーケンス図である。

【図4】

本管理システムにおけるハウスカードを用いてチップの発行・精算を行う処理例を示すシーケンス図である。

【符号の説明】

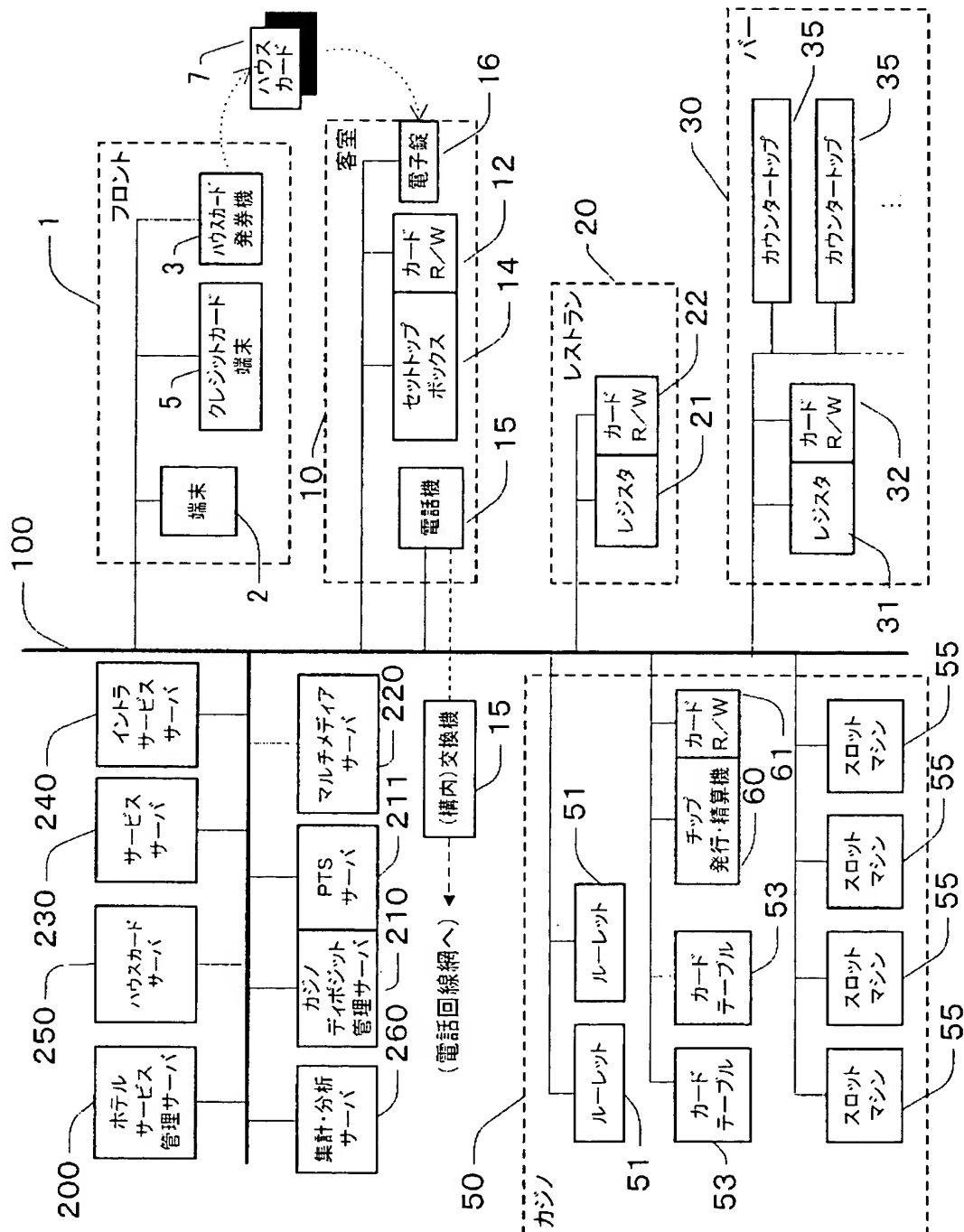
- 1 … フロント
- 2 … 端末
- 3 … ハウスカード発券機
- 5 … クレジットカード端末
- 7 … ハウスカード（カードキー）
- 10 … 客室
- 12、22、32 … カードリーダー（カードR／W）
- 14 … セットトップボックス
- 20 … レストラン

3 0 … バー
2 1、3 1 … レジスタ
5 0 … カジノ
5 1 … ルーレット
5 3 … カードテーブル
5 5 … スロットマシン
2 0 0 … ホテルサービス管理サーバ
2 1 0 … カジノデポジット管理サーバ
2 1 1 … P T S サーバ
2 2 0 … マルチメディアサーバ
2 3 0 … サービスサーバ
2 4 0 … イントラサービスサーバ
2 5 0 … ハウスカードサーバ

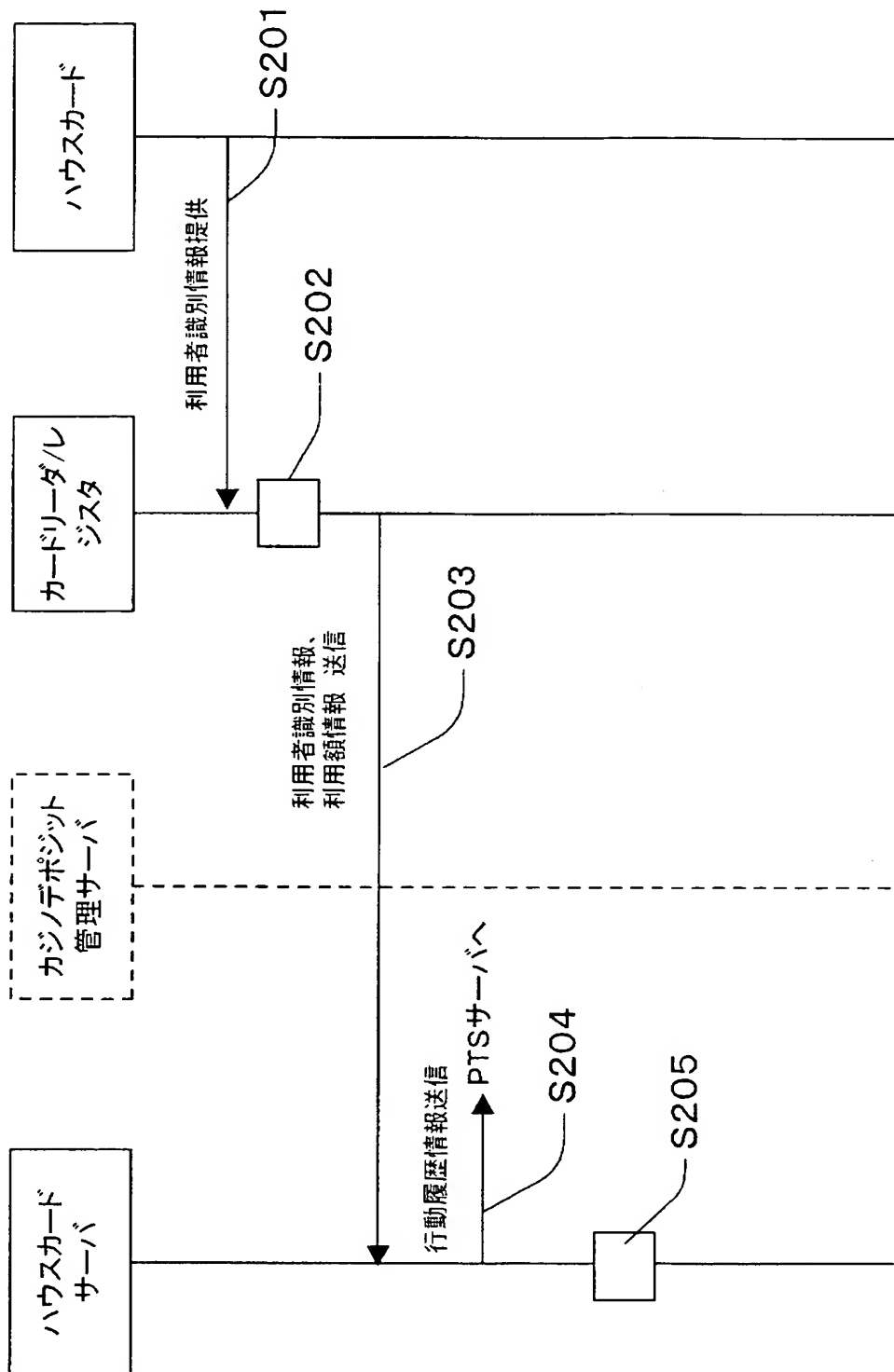
【書類名】

図面

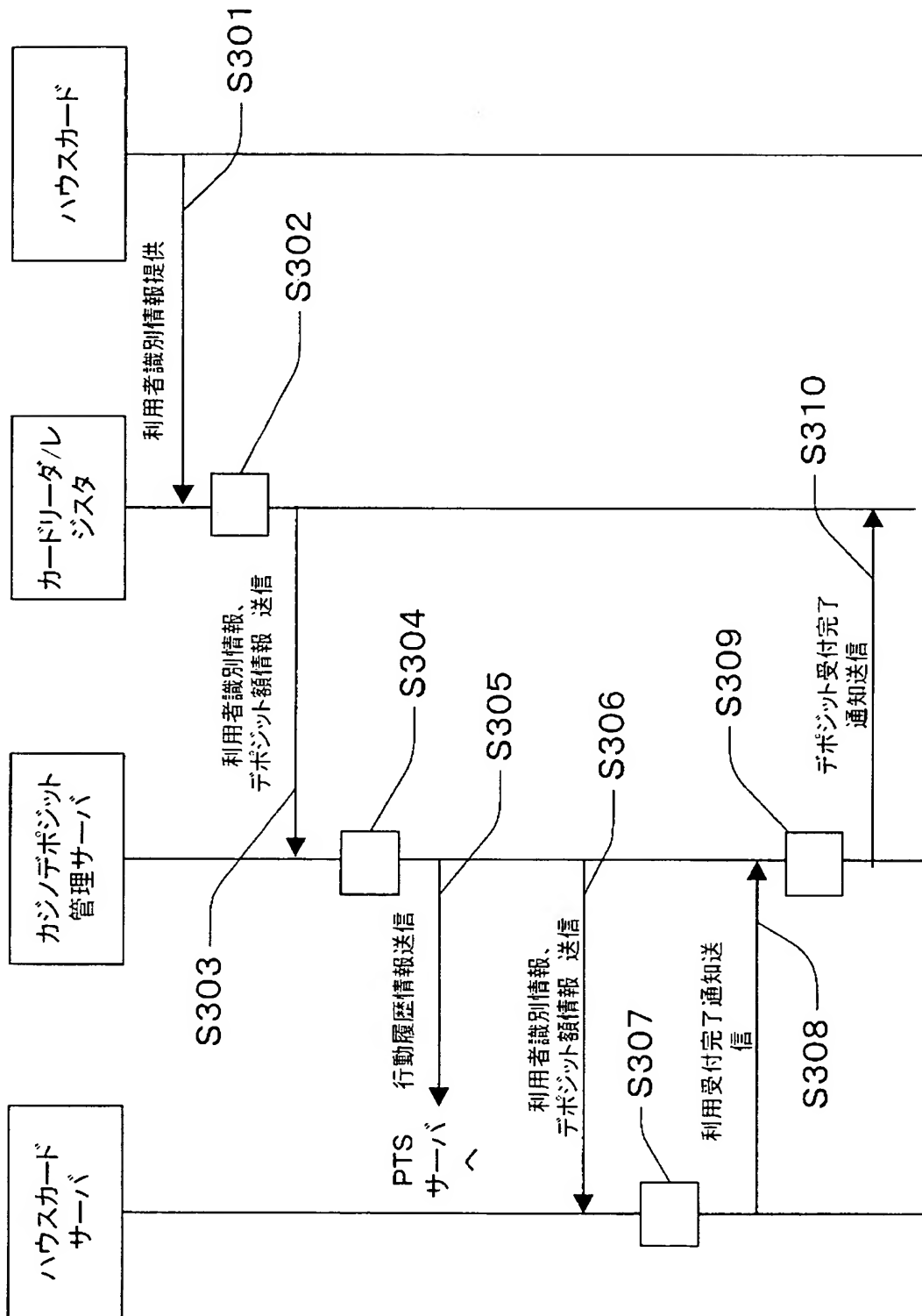
【図 1】



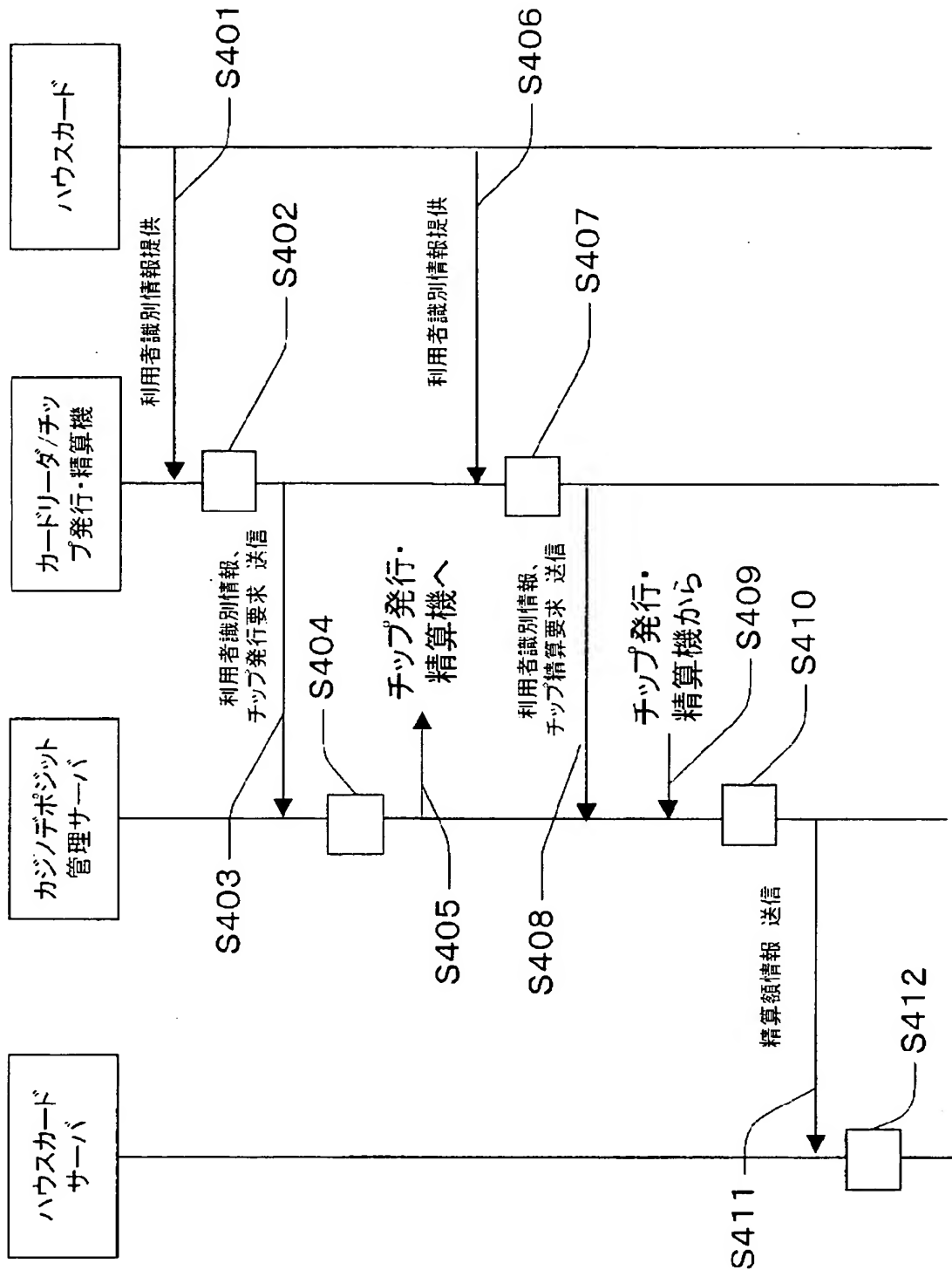
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ホテルにおけるホテルサービスとカジノにおけるカジノサービスを統合し、ハウスカードを1枚でホテル／カジノ内の全てのサービスの提供が受けられる。

【解決手段】 本発明は、カジノが設置されたホテル内において、利用者を特定できるハウスカード（カードキー）を発行するハウスカード発行部と、ホテル内のホテルサービス提供部（フロント、客室、レストラン、バーなど）に設置されたカードリーダーから取得した、そのカード利用者の情報を管理するハウスカードサーバと、カードを所有する利用者に、そのカード利用者のカジノ内での利用限度を定めると共に、ホテル内のカジノサービス提供部に設置されたカードリーダーから取得した利用者を識別する情報を用いて、そのカード利用者のデポジット情報を管理するカジノデポジット管理サーバとを設ける。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 2 - 3 6 4 4 9 4
受付番号	5 0 2 0 1 9 0 5 3 0 4
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 4 年 1 2 月 1 7 日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	598098526
【住所又は居所】	東京都江東区有明 3 丁目 1 番地 2 5
【氏名又は名称】	アルゼ株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100101889
【住所又は居所】	東京都新宿区高田馬場 1 - 2 9 - 6 野菊ビル 3 F

【氏名又は名称】	中村 俊郎
----------	-------

【選任した代理人】

【識別番号】	100097559
【住所又は居所】	東京都新宿区高田馬場 1 - 2 9 - 6 野菊ビル 3 F

【氏名又は名称】	水野 浩司
----------	-------

次頁無

特願 2 0 0 2 - 3 6 4 4 9 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [5 9 8 1 1 4 3 4 3]

1. 変更年月日 1 9 9 8 年 1 1 月 4 日
[変更理由] 識別番号の二重登録による抹消
[統合先識別番号] 5 9 8 0 9 8 5 2 6
住 所 東京都江東区有明 3 丁目 1 番地 2 5
氏 名 アルゼ株式会社

特願 2 0 0 2 - 3 6 4 4 9 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[5 9 8 0 9 8 5 2 6]

1. 変更年月日 1 9 9 8 年 1 1 月 4 日
[変更理由] 識別番号の二重登録による統合
[統合元識別番号] 5 9 8 1 1 4 3 4 3
住 所 東京都江東区有明 3 丁目 1 番地 2 5
氏 名 アルゼ株式会社

